



—— 令和元年度 ——

丹波すぐれもの大賞

TAMBA SUGUREMONO

兵庫県丹波県民局 県民交流室地域振興課



丹波地域は、四季折々の豊かな自然や、丹波栗・丹波黒大豆といったブランド農産物、日本遺産のデカンショ節や丹波焼、そして恐竜化石など、豊かな地域資源に恵まれ、更には京阪神からのアクセスの良さなど様々な魅力にあふれています。また、優れた技術で産業界や地域の活性化に貢献している製品や、地域の特色を生かした独創的で優れた品質の食料品を製造している企業が数多くあります。

そこで、地域の将来を担う若者や内外の多くの方々に、これら丹波地域の企業の取組や製商品等の魅力を知り、興味や関心を高めていただこうと、「丹波すぐれもの大賞」として顕彰しています。

令和元年度は、「きらめき部門」「わくわく部門」「ときめき部門」の3部門併せて14件の応募の中から、学識者等からなる6名の審査委員による厳正な審査を経て、計7件の「すぐれもの大賞」を決定しました。受賞された皆様には、日本遺産としても認定を受け、丹波地域の伝統工芸として有名な丹波焼の表彰楯をお贈りしています。

この賞による顕彰は9年目を迎え、全県・全国レベルの表彰に選定された方やテレビやラジオといったメディアに取り上げられた方もあります。同じように、この度の受賞が今後ますますの発展に繋がることを期待しています。

県民局ではこれからも、「丹波すぐれもの大賞」として企業等の取組を広くアピールし、地域の活性化を図り多彩な産業・豊かなものづくりにあふれる丹波地域の創造に貢献してまいります。今後も、ぜひ丹波地域が誇る地元企業等の優れた取組に御注目ください。

丹波すぐれもの大賞の概要

丹波県民局では、地元企業の優れた企画・技術力を広くアピールし、地域の産業を活性化するとともに、地域資源を活用した事業やイベントによる観光・交流を促進するため、平成23年度から「丹波すぐれもの大賞」による顕彰を行っています。

3部門において審査を行い、特にすぐれた評価を受けた企業・団体・個人等を表彰しています。

◆ 表彰部門 ◆

きらめき部門

革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品

わくわく部門

丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品

ときめき部門

地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベント

すぐれもの大賞に選考された製商品等は、パンフレットの作成・配布や県民だよりひょうご、ホームページ等で地域内外へ広く発信し、丹波地域のものづくり産業、観光・交流への関心を高めることとしています。



平成 23 年度に創設された「丹波すぐれもの大賞」に、令和元年度は全体で 14 件の応募があり、厳正な審査の結果、7 件の「すぐれもの」を選出しました。

はじめに革新的で高い技術により開発された、産業及びビジネスで活用される製商品を表彰する、きらめき部門です。受賞した3つの製商品は、いずれも“現場の声”や“お客様ニーズ”を的確に捉え、いかにして製商品化するかという過程で、それぞれが持つ従来からの技術やノウハウに磨きをかけ、工夫を凝らした製商品と言えるでしょう。

酪農家からの『仔牛が寒さで弱って死んでしまう』という悲痛な声に応えた(株)オオツキの「ぬっくモーる」、ドクターヘリの医療従事者の切実な思いを反映したマルスバックの「医療・救急・防災用フルオーダーバッグ」、近年リフォームが増える中でマンションでも無垢の木の良さを感じてもらいたいという思いを叶えた(株)藤本林業所の「置き床生活」、が受賞した製商品です。

次に、丹波地域の特色を活かした、独創的で優れた品質の食料品を表彰する、わくわく部門です。旬が短い黒枝豆を採れたての鮮度で味わえるケンミン食品(株)篠山工場の「冷凍 丹波篠山産丹波黒枝豆」、丹波市青垣町の特産で全国的にも珍しいあざみ菜の漬物をトッピングした御菓子司荒木本舗の「あざみ菜まんじゅう」、丹波の豊富な食材と酒蔵の技術を活かした(株)西山酒造場の「小鼓 モンテオエステ ジン」、が受賞した食料品です。

さらに、地域資源を新たな工夫で活用し、観光・交流を促進する事業・イベントを表彰する、ときめき部門です。「丹波ハピネスマーケット」は、地元の若者が中心となり、平成 24 年から毎月柏原市街地（柏原八幡神社周辺）で開催される定期市で、丹波の農産物などを活かした手作り商品等にこだわった会場づくりが好評を呼び、多くの来場者を集めています。長年の取り組みが、地域資源のPRや観光客等のリピーター獲得に繋がっています。

以上、受賞内容について簡単にご紹介しましたが、今回惜しくも選外になった製商品・事業／イベントにも、企業発展や地域貢献に向けて創意工夫が凝らされているものが多くあり、丹波地域には大変素晴らしい企業・団体があることを改めて実感しました。

最後に、皆様が今回の受賞を契機にさらなる飛躍を遂げられますよう祈念しまして、簡単ではありますが講評とさせていただきます。



〈丹波焼表彰楯〉

陶板製作：丹水窯 田中 茂・聡（丹波篠山市今田町上立杭）

ぬっくモーター



安心のバッテリー
持続時間



北海道の
協力を
開発

株式会社 オオツキ

低 体温の仔牛を救いたいという思いが形になった畜産業界初の商品です。作業服の販売をしているワークショップオオツキが、どうして仔牛用のマフラーを開発するようになったのか。それはちょっとしたご縁からでした。

ご縁をいただいて北海道へ電熱線入りベストを販売に行った時、ある酪農家のお客様から「人間の着る物は要らないから仔牛を温める物を作ってくれないか？冬になると仔牛が寒さで弱って死んでしまう。もうそれを見るのが嫌だ。」というお話しでした。形にするには、北海道の方々から何度も何度もお話を聞き、知恵をお借りして、サンプルを作りモニター様に試していただき、沢山の方にお世話になって出来上がった

商品です。帯状のマフラーで中にヒーターを入れ、ヒーターには炭素繊維を使用し、温度は外気温や仔牛の体温に合わせて強・中・弱と3段階に調整できます。バッテリー持続時間は強で11時間30分・中17時間30分・弱23時間30分。冬だけでなく梅雨の時期までお使いいただけます。洗濯できるため一頭だけでなく何頭にも使えます。

商品を作るにあたり一番気をつけた事は低温やけどをしない事、次にバッテリーの持続時間を出来るだけ長くして手間を省くことでした。

全国からご注文いただいておりますが、まだまだ必要な方の手元に届いていませんので、一人でも多くの方に知っていただけるよう精進してまいります。

会社沿革

- 昭和23年 日用雑貨卸売業を創業
- 昭和37年 株式会社大槻商店を設立
- 昭和56年 ワークショップダルマヤ春日店・氷上店オープン
- 昭和62年 三田店・綾部店オープン、屋号をワークショップオオツキに改名
- 昭和63年 八木店オープン・西脇店オープン・福知山店・和田山店オープン・三木店オープン・福崎店オープン
- 平成5年 峰山店オープン・豊岡店オープン
- 平成6年 東舞鶴店・丹南店オープン
- 平成8年 株式会社オオツキに社名変更・川西店オープン
第一回優良企業申告法人認定
- 平成9年 本部及び物流を春日町新才518番地に移転・宝塚店オープン
- 平成14年 西宮店オープン・ユニフォームレンタル事業開始
中小企業経営革新法認定（ユニフォームレンタル事業）
- 平成20年 ISO14001 認証取得
- 平成22年 作業安全商会はとや営業権取得
- 平成26年 阪神営業部を開設・西神営業部を開設
- 平成30年 ぬっくモーター開発スタート（6月）
- 令和元年 ぬっくモーター販売開始（9月）

会社概要

所在地 兵庫県丹波市春日町新才 518
 代表者 大槻 祥三
 創業 1948年
 資本金 1,800万円
 社員数 96名
 事業内容 <卸売業>アキレス代理店 <小売業>作業服・各種ユニフォーム・作業用品・履物類販売、ユニフォームレンタル事業
 問合せ TEL : 0795-74-0179/FAX : 0795-74-2833
 Email : usimo@otsuki.ne.jp
 H P https://www.otsuki.ne.jp/
 https://www.usimo.jp/



医療・救急・防災用 フルオーダーバッグ

Maru Su Bags

あるドクターヘリフライトナー
 スの方との出会いから、従来の
 の医療救急用バッグに対して、「選
 択肢が少なく選べない」「現場で使
 わない装備が多い」「修理ができな
 い」といった切実な思いをお聞きし、
 それは多くの医療救急従事者が共通
 して持っておられる問題だと知りま
 した。

従来品は海外で企画・大量生産さ
 れたものが多いため、国内の医療救
 急事情に合わないのがその大きな原
 因だと思われませんが、修理できず
 にボロボロになった現物を見せてい
 だき大きな衝撃を受けました。長年
 バッグ業界に携わってきたものとし
 て、毎日命の現場で活躍される方々
 の使われる大切な道具がこんな状況
 ではいけない、それぞれの現場に応
 じた使いやすいバッグを提案したい
 と強く思いこの事業を立ち上げまし

た。
 Maru Su Bags ではまず現場のご
 担当者からしっかりお話をお聞きす
 るところから始まります。本当に求め
 ておられる機能や仕様をできるだけ
 具体的に把握し、逆に不必要なもの
 は徹底的に省きます。そうすることで
 前述の問題を解決し、さらに容量
 確保、軽量化・短納期化に繋がります。

個々で違う現場の要望にお応えし
 たい。それが Maru Su Bags の基本
 理念です。



容量確保・軽量化

それぞれの現場に応じた
 使いやすいバッグを
 オーダーメイド



会社沿革

- 平成29年11月 「Maru Su Bags」創業
- 平成30年6月 丹波市に工房を出店
- 平成30年10月 丹波市商工会主催「匠の技フェア」初出展
- 平成30年12月 中国上海市にて国際展示会に初出展
- 平成31年3月 同 2 回目出展
- 兵庫県経営革新計画承認
- 日本災害医学会初出展
- 令和元年9月 神戸市にて「国際フロンティア産業メッセ2019」初出展
- 令和元年10月 タイバンコクにてメディカルフェア市場調査
- 令和元年10月 丹波市商工会主催「匠の技フェア」2 回目出展
- 令和2年3月 「Maru Su Bags」「斜め2本線」商標登録済み
- 令和2年3月 日本災害医学会 2 回目出展

会社概要

所在地 兵庫県丹波市柏原町母坪 404-1-102
 代表者 細川 晋
 創業 2017年11月
 資本金 なし
 社員数 2名
 事業内容 医療・救急・消防・防災関係バッグの企画製造
 問合せ先 TEL : 0795-86-8212/090-2595-3882/FAX : 0795-86-8212
 Email : otr0360@gmail.com
 H P https://www.marusubags.com/

置き床生活



夏は足触りがサラサラ
冬はあたたか

株式会社 藤本林業所

藤 本林業所は、昭和27年に丹波篠山市で創業を開始し、林業、製材及び木材の販売を行ってきました。現在は、これらに加えて住宅及び店舗の建設やリフォーム、家具及び建具の製作など、木に関わる幅広い業務を手掛けています。木のこだわりをお客様に届けるために、自社一貫生産を心がけています。

近年リフォームのお客様が増える中で、マンションに住んでいる方にも無垢の木の良さを感じてもらいたい、という思いから、杉のフローリング「置き床生活」を開発しました。「置き床生活」は、今ある床の上に敷き詰めて使用し、ビスが不要なため、施工時の音が静かでマンション

の施工に適しています。又、接着材も使わないため、賃貸物件でも撤去時に剥がすなどの復元工事が不要で、引越し先でも、「置き床生活」を長年にわたり使用していただけます。塗装には、杉の香りを閉じ込めないように自然素材のキヌカ（米ぬか油）を使用しています。無垢の杉は、室内の湿気を吸収します。夏は足触りがサラサラで、冬はあたたか。杉の持つ断熱性と保温性により足元が冷えません。又、裏面に遮熱シートを貼っているため、コンクリートの冷たさを遮り暖房効果も向上します。

ぜひ、裸足で「置き床生活」の木の暖かさを体験してください。



会社概要

所在地 兵庫県丹波篠山市池上 8
 代表者 藤本 清仁
 創業年 1952 年
 資本金 1000 万円
 社員数 3 名
 事業内容 製材業、建設業、建築材料卸売業、家具、建具等木製品製造販売、林業
 問合せ先 TEL : 079-552-0187/FAX : 079-552-2187
 Email : info@fujirin.co.jp
 H P http://www.fujirin.co.jp

会社沿革

昭和27年 8月 株式会社藤本林業所を創業
 平成元年 3月 一般建設業許可取得
 平成26年 7月 「置き床生活」商標登録取得
 平成28年 3月 兵庫県産木材製品開発フォーラム「置き床生活」出展
 平成30年 9月 「建築物床面敷設用の置床材」実用新案登録取得
 令和元年 7月 経営革新計画承認

丹波篠山産 丹波黒枝豆

「冷凍」



- 収穫期以外のシーズンでも丹波黒大豆を楽しめる!! +



黒大豆(生豆)取扱高日本一の小田垣商店とケンミン食品が生産量日本一の冷凍ビーフン生産量日本一のケンミン食品が共同開発



ケンミン食品 株式会社 篠山工場 (株式会社 小田垣商店 業務提携)

丹波篠山市にある黒大豆(生豆)取扱高で日本一を誇る黒大豆卸問屋の小田垣商店と冷凍ビーフン生産量日本一の工場を構えるケンミン食品が業務提携して、冷凍した丹波篠山産丹波黒枝豆の製品を共同開発しました。

丹波篠山産 丹波黒枝豆と言えば、旬の期間が 10 月上旬から 2~3 週間しか味わえないことや、数日しか保管がきかないこと、そして収穫に手間がかかることから大量生産の妨げとなりました。

しかし、こうした状況に対応するため、両社は平成 28 年から共同研究を開始しました。生産農家が収穫したさやを小田垣商店が集荷して選別した後、

ケンミン食品では黒枝豆をゆでて、冷凍設備を活用して急速冷凍。そうすることで鮮度が保持でき、高品質で大量生産が可能となったほか、賞味期限を 2 年間まで延ばすことができました。

これにより収穫期以外のシーズンでも丹波黒枝豆を楽しむことができるようになりました。

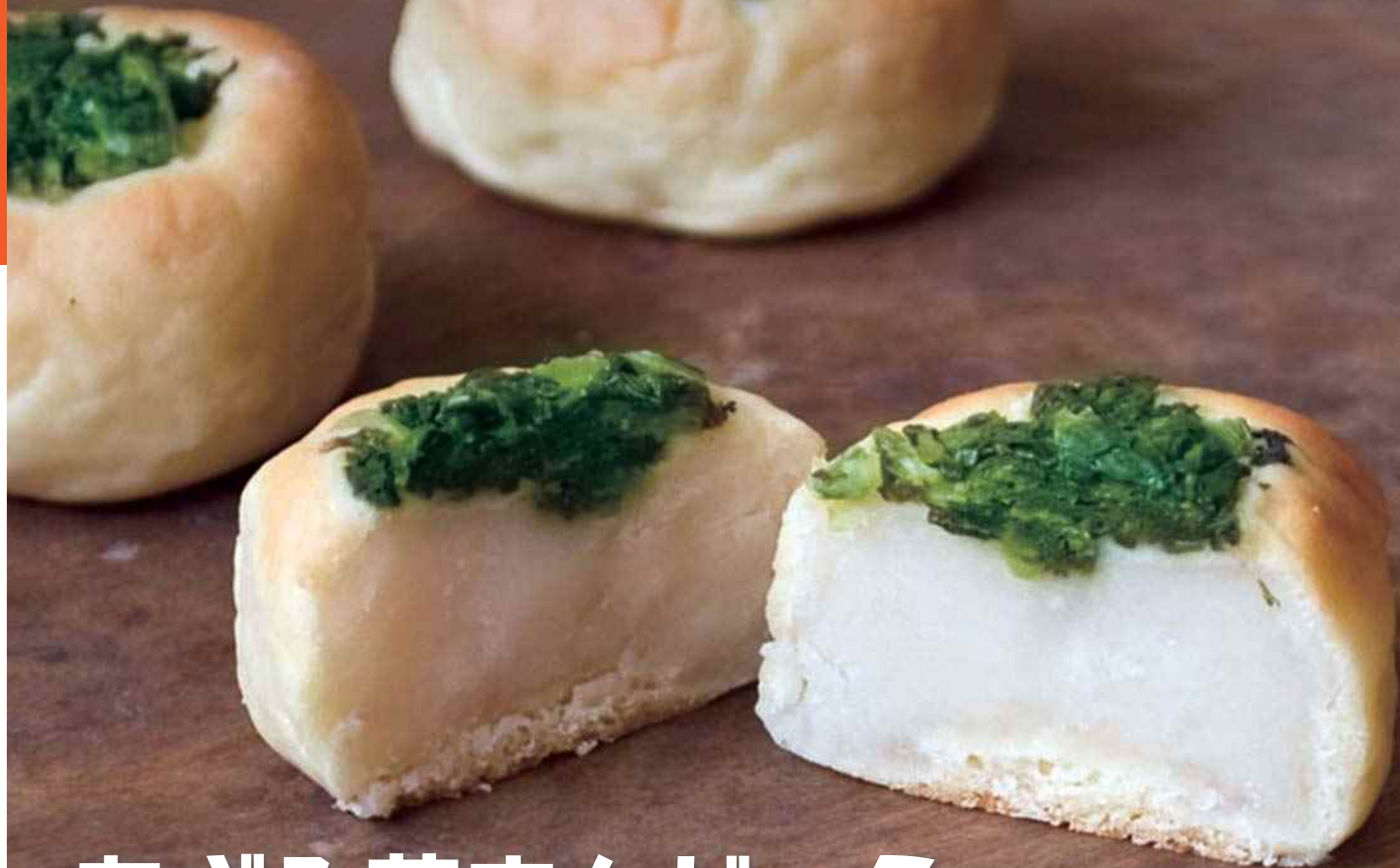
海外では和食ブームといわれる中で、「えだまめ(edamame)」は、寿司(sushi)や神戸ビーフ(Kobe Beef)等と並んで、日本のフードを代表する言葉になっています。今後は、海外進出も視野に入れて、丹波篠山ブランドの世界最高品質のえだまめを日本全国のみならず世界に広めることで、地元にも貢献して参ります。

会社沿革

| | |
|----------|--|
| 昭和25年3月 | 健民商會として神戸の地でビーフン製造開始 |
| 昭和32年9月 | ㈱健民商會設立 |
| 昭和35年10月 | 即席焼ビーフン発売 |
| 昭和39年9月 | ケンミン食品㈱と社名変更 |
| 昭和52年6月 | 中国茶加工販売開始 |
| 昭和53年11月 | 丹波篠山に新工場を開設(兵庫県丹波篠山市) |
| 昭和57年4月 | 冷凍食品製造販売開始 |
| 昭和61年3月 | 冷凍調理焼ビーフン発売 |
| 昭和62年12月 | タイ工場設立(KENMIN FOODS THAILAND CO.,LTD.) |
| 平成15年6月 | 厦門健民食品有限公司設立(中国福建省) |
| 平成20年3月 | ライスパスタ発売 |
| 平成24年10月 | 篠山工場が食品衛生優良施設として厚生労働大臣表彰を受賞 |
| 平成29年2月 | フジケンミンフーズ㈱設立(静岡県藤枝市) |
| 平成30年3月 | ライスペーパー発売 |
| 平成30年10月 | 冷凍丹波篠山産丹波黒枝豆 製造開始 |
| 平成31年1月 | サッカーJ1リーグ ヴィッセル神戸とオフィシャルスポンサー契約 |

会社概要

| | |
|------|--|
| 所在地 | 本社：兵庫県神戸市中央区海岸通5丁目1番1号 篠山工場：兵庫県丹波篠山市泉2-7(泉工業団地) |
| 代表者 | 高村 祐輝 |
| 創業 | 1950年3月 |
| 資本金 | 9200万円 |
| 社員数 | 198名(2019年2月現在) |
| 事業内容 | ビーフン、フォー、ライスパスタ、ライスペーパー、冷凍食品、烏龍茶などの製造・販売 |
| 問合せ先 | TEL：078-366-3035/FAX：078-366-3045 Email：info@kenmin.co.jp |
| H P | https://www.kenmin.co.jp |



あざみ菜まんじゅう



「意外なおいしさ」

外はパリッと
中はフワッと
——米

御菓子司 荒木本舗

御菓子司 荒木本舗は昭和37年4月に丹波市青垣町で創業し、創作菓子を作るお店として丹波市内外のお客様に和洋菓子をお届けしています。

あざみ菜まんじゅうが誕生した背景は、『丹波市青垣町の漬物をまんじゅうに使えないか』という生産者の一言からでした。

あざみ菜は主に丹波市で栽培され、パリッとした舌触りに鮮やかな緑、独特な香りと辛さが特徴です。丹波市は寒暖の差が大きく、南北風の交差する地域の為、よいあざみ菜ができると言われていました。これを漬物にしたのがあざみ菜漬です。

そして、あざみ菜を乗せるまんじゅうは、当店オリジナルの白あんを入れたまんじゅうに日本酒を塗って焼き上げ、外はパリッと中はふ

わっとした食感に仕上げています。

あざみ菜まんじゅうを作るときは、素材を活かすため、刻んだだけのあざみ菜漬を、まんじゅうの上のせて焼き上げました。試食してみたところ、漬物の塩味とあざみ菜のピリ辛の味わい、パリッとした歯ごたえがアクセントになり、あんの甘味と漬物の塩味が味を引き立て合いました。

あざみ菜まんじゅうを通して、地元の生産者や名産とコラボすることで、まんじゅうのおいしさだけでなく、あざみ菜の特徴も伝わると考えています。これからもあざみ菜まんじゅうを通じて地元農産物の良さを広めていきたいと考えています。ぜひ一度ご賞味ください。



会社概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 兵庫県丹波市青垣町小倉 891-6 |
| 代表者 | 荒木 徹 |
| 創業 | 1962年 |
| 資本金 | — |
| 社員数 | 5人 |
| 事業内容 | 菓子製造・販売 |
| 問合先 | TEL : 0795-87-0108 / FAX : 0795-87-0800 |
| H P | — |

会社沿革

| | |
|----------|--------------------------|
| 昭和37年4月 | 御菓子司 荒木本舗を創業 |
| 昭和59年3月 | 第20回 全国菓子大博覧会 金賞 |
| 昭和63年10月 | 現地に新店舗 御菓子司 荒木本舗をオープン |
| 平成元年5月 | 第21回 全国菓子大博覧会 金賞 |
| 平成10年5月 | 第23回 全国菓子大博覧会 金賞 |
| 平成20年5月 | 第25回 全国菓子大博覧会・兵庫 金葉博栄誉大賞 |
| 平成29年5月 | 第27回 全国菓子大博覧会・三重 金葉賞 |
| 令和元年10月 | なかしんふるさと賞 商工業部門 |



小鼓 モンテオエステ ジン

株式会社 西山酒造場



まるでかき
優しい味あい
優



1849年から
受け継がれてきた酒造り

西山酒造場は丹波市市島町にある、1849年創業の酒蔵です。旗艦銘柄は「丹波美酒 小鼓」。近年では清酒だけでなく、焼酎、リキュール、ノンアルコール製品や化粧品なども製造しています。あらゆる世代の方々に、自社の発酵製品で、生活をより良いものにしてもらいたい、という想いが私たちの原動力です。

「モンテオエステ ジン」は、私たちにとって新たな挑戦です。「ジン」とは、大麦など穀物類を原料として、ハーブやスパイスなど数種類を加えた「蒸溜酒」のこと。丹波の豊富な食材と、私たちが長年培ってきた蒸溜技術を活かして、オリジナルのジンを製造しました。ブルーベリーや黒豆茶、有機なた豆茶など、丹波の名産を使用しています。農業が盛んな丹波だからこそ、挑戦することが

できました。

本製品は、スピリッツ初心者でも飲みやすい、まるでかきで優しい味わいが特徴です。やわらかな甘さを引き出すため、ベースには、丹波産の特別栽培米コシヒカリ「夢たんば」で造った米焼酎を使用。さらに、酒蔵ならではの「酒粕」を加えています。

多数の食材で造ることができるお酒は、ジン以外にありません。丹波の自然の恵みで造り上げたジンを通して、全国ひいては全世界に、丹波という土地をPRして参ります。



会社概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 兵庫県丹波市市島町中竹田 1171 |
| 代表者 | 西山 周三 |
| 創業 | 1849年 |
| 資本金 | 2000万円 |
| 社員数 | 30名 |
| 事業内容 | 清酒・焼酎・リキュール・グラッパ、スイーツ、ノンアルコール製品等の製造・販売 |
| 問合せ | TEL : 0795-86-0331/FAX : 0795-86-0202 Email : main@kotsuzumi.co.jp |
| H P | http://www.kotsuzumi.co.jp/officialweb/ |

会社沿革

| | |
|-------|---------------------------------------|
| 嘉永2年 | 清酒蔵として創業 |
| 大正3年 | 高浜虚子より「小鼓」と命名される |
| 昭和57年 | 全国で初めて栗焼酎を製造、販売開始 |
| 昭和59年 | 全国で初めて「生酒の蔵元直送便」を開始 |
| 平成3年 | 「花閑一鼓」、「路上有花」を発売、ヒット商品となる |
| 平成13年 | 海外への輸出を開始 |
| 平成24年 | 「甘酒ヨーグルト」「甘麹」が丹波すぐれもの大賞を受賞 |
| 平成26年 | 「路上有花」が丹波すぐれもの大賞を受賞 |
| 令和元年 | 全国新酒鑑評会 2年連続金賞受賞 クラフトジンの開発・製造・販売開始 |

丹波 ハピネスマーケット



丹波ハピネスマーケット 実行委員会

丹波ハピネスマーケットは、2012年9月、地元の若手業者が中心となってスタートし、今では、丹波市柏原市街地（柏原八幡神社周辺）で毎月第2土曜日に開催される定期市として、定着しています。実行委員会では、ここに関わるすべての人が、“幸せと夢を共有できるマーケット”にとの想いを込めて「丹波ハピネスマーケット」と名付けました。丹波地域の農産物などを活かした手作り商品等にこだわった会場づくりが好評を呼び、毎月2千人を超える来場者を集めており、その半数以上が市外からの来場であり30～40代の女性が中心となっています。

丹波地域は「京阪神から車で1時間で行ける便利な田舎」であり、新しい暮らしやチャレンジを始めるU

Iターン者など、地域を盛り上げ、活躍する市内外の人が増えてきています。このような地域において、丹波ハピネスマーケットは、新しいチャレンジのプラットフォームとしての役割も果たしています。

マーケットへの出店は半数程度が市外からの店舗であり、定期的で開催することで、既存店舗とチャレンジ店舗との出会いや繋がりを生み出し、地域経済に新陳代謝とイノベーションを、暮らす人々に「地域を楽しむきっかけ」をもたらしていると言えます。

また、長年の取組が、地域資源のPRや観光客等のリピーター獲得に繋がっており、今後の継続する「まちづくり、まちの活性化」に期待を寄せています。（丹波市商工会推薦）



毎月
第2土曜
日の
開催
定期市

丹波地域の農産物
などを活かした
手作り商品なども販売

組織概要

| | |
|------|---|
| 所在地 | 兵庫県丹波市春日町中山 192-1（事務局） |
| 代表者 | 吉田 賢一 |
| 創業者 | 2012年9月 |
| 資本金 | なし |
| 社員数 | 一 |
| 事業内容 | 定期市の開催 |
| 問合せ先 | TEL：0795-78-9603/FAX：0795-78-9604 |
| H P | https://happinesmarket.jp/ |

組織沿革

| | |
|---------|-----------------------------|
| 平成24年7月 | 丹波ハピネスマーケット実行委員会を発足 |
| 平成24年9月 | 第1回丹波ハピネスマーケット開催 |
| 平成27年8月 | 地元と共同で初めてのナイト丹波ハピネスマーケットを開催 |
| 令和2年3月 | 毎月第2土曜日に丹波ハピネスマーケットを継続して開催 |

過去5年間の受賞企業・製商品

KIRAMEKI DEPARTMENT

きりめき部門



平成26年度

株式会社ささめ針 (丹波市)

ゆりかごのような動きで沈むジグ
「クレイドル」



平成26年度

谷水加工板工業株式会社 (丹波市)

高い防音性と耐火性を備えた船舶用建材
「船舶用『おとのん』」



平成27年度

株式会社岩崎電機製作所 (丹波篠山市)

産業機器等の自動検査装置
「サイバーテスター」



平成27年度

Tarba Style (丹波篠山市)

丹波焼の伝統を生かした洋食の器
「TS Black」「TS White」



平成27年度

ミス/テクニクス株式会社 氷上工場 (丹波市)

無縫製技術による高速水着
「GX-SONIC II」



平成27年度

有限会社喜南鈴硝子 (丹波篠山市)

特許取得したガラスによるガラス工芸品
「花しずくシリーズ」



平成28年度

株式会社青山産業研究所 (丹波篠山市)

こはぜプレスレット



平成28年度

株式会社サンバック市島工場 (丹波市)

フットグルーマー



平成28年度

株式会社田村機械製作所 (丹波市) ※

栗の鬼皮剥き機

※平成29年で廃業。現在は株式会社東洋風圧で取り扱い

KIRAMEKI DEPARTMENT



平成29年度
株式会社おいたて工務店(丹波篠山市)
SETTE (企画住宅)



平成29年度
パナソニックライティングシステムズ株式会社
春日工場 (丹波市)
LED投光器モジュールタイプ



平成30年度
株式会社横谷(丹波市)
フロアtatami



平成30年度
株式会社ささやまビーファーム(丹波篠山市)
篠山石鹸・篠山精油



平成30年度
フォト・プランニング(丹波市)
クリーンライフプロ

WAKUWAKU DEPARTMENT



平成26年度
鳳鳴酒造株式会社(丹波篠山市)
にこり酒と日本酒仕込みの梅酒のブレンド酒「にこりうめ」



平成26年度
株式会社西山酒造場(丹波市)
通年楽しめるしぼりたての純米大吟醸酒「小鼓 路上有花シリーズ」



平成27年度
株式会社諏訪園(丹波篠山市)
丹波栗の風味・色合いを生かした「新栗もち」



平成28年度
アイクレオ株式会社柏原工場(丹波市)
アイクレオのバランスミルク

WAKUWAKU DEPARTMENT

わくわく部門



平成28年度
丹波小林屋(丹波市)
バジル茶



平成28年度
合同会社とあっせ(sasarai)(丹波篠山市)
パティスリーバトン



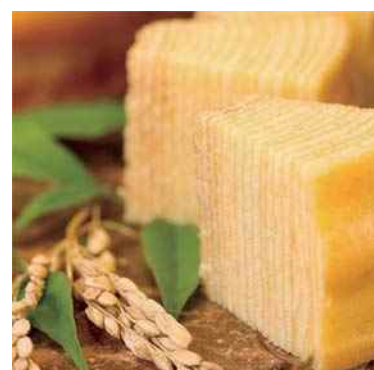
平成29年度
有限会社こやま園(丹波市)
丹波なた豆茶



平成29年度
たんばJUNちゃん農園(丹波市)
丹波発大人のPongashi



平成29年度
丹波婦木農場チーズ工房(丹波市)
ナチュラルチーズサンマルセラン



平成30年度
株式会社まさゆめさかゆめ(丹波市)
夢ばあむ

TOKIMEKI DEPARTMENT

ときめき部門



平成30年度
株式会社友縁/大連飯店(丹波市)
丹波ゴールドエッグ-栗-
丹波ドラゴンエッグ-黒ごま-



平成29年度
合同会社里山工房くもべ(丹波篠山市)
旧雲部小学校舎を活用した地域づくり



平成30年度
丹波篠山・まちなみアートフェスティバル
実行委員会(丹波篠山市)
丹波篠山まちなみアートフェスティバル

話題企業3社の受賞製品の今

～過去の「丹波すぐれもの大賞」受賞企業から～

丹波地域で操業している特筆すべき企業の存在を広く知ってもらい、地元企業への関心を高めてもらおうと、平成23年度に始まった「丹波すぐれもの大賞」。平成30年度の第8回まで計41件の受賞がありました。その中から近年、話題を集めている企業と、受賞した製商品の“今”を紹介します。

きらめき部門

谷水加工板工業株式会社

船舶用「おとのん」

株式会社おいたて工務店

SETTE (企画住宅)

わくわく部門

有限会社こやま園

丹波なた豆茶

平成26年度受賞

船舶用「おとのん」

● 谷水加工板工業株式会社 ●

▼ 薄板鋼板の両端を曲げる工程



▲ 騒音を発する工場内の設備を「おとのん」でカバー。「おとのん」の用途は広い。

谷水加工板工業は平成20年に組立式の木製防音室を開発・販売。その延長線上で6年前に開発した「おとのん」は船舶室内用の防音パネルで、国際基準に適合した船舶建造用部材として国内で初めて認証されました。造船業界での採用は順調で、同業界に貢献しています。同社では、「おとのん」の開発にあたって薄い板状の鋼板を加工する設備を導入し、毎年、設備の増強を図っ

てきました。それまでは木質系のパネルの製造に注力してきた同社ですが、「おとのん」で使われる薄板鋼板のパネルが災害用の応急仮設住宅でも応用されることとなり、新たな展開につながりました。仮設事務所などとしても使えるユニットハウスを生産しているメーカーに薄板鋼板の断熱用パネルを納入しており、同社の主力製品のひとつになっています。

DATA

本社所在地 兵庫県丹波市氷上町賀茂 1457-1

事業内容 断熱パネル・防音パネルの製造販売

平成29年度受賞

SETTE (企画住宅)

● 株式会社 おいたて工務店 ●

▼ SETTE工法で建てた住宅の外観



DATA

本社所在地 兵庫県丹波篠山市味間南 840-8

事業内容 木造建築工事業、
住宅新築・リフォーム工事ほか



◀ 間取りを自由に変えられる SETTE工法の住宅内部

「SETTE(セッテ)」は、家人がDIY感覚で自由に間取りを変えられる2階建ての木造住宅です。柱や梁をクロスや天井などで隠さず、そのまま見せたいと考えたことから生まれたSETTEは、スリット(溝)が入った梁を格子状に縦横1メートル間隔で組んでおり、ふすまのように壁をスリットにはめこみます。また、オリジナルの専用金具で柱を梁に取り付けられま

す。間仕切り用の壁や柱を好きな場所に簡単に移動できるため、夫婦2人の生活ではゆったりとした空間が楽しめます。子どもが生まれると、壁や柱を取り付け、子ども部屋を確保できます。耐震性や耐久性、断熱性などの面でもすぐれています。4件の施工実績があり、全国各地の工務店12社からSETTEの工法を自社でも取り入れたいとの申し出が寄せられています。

平成29年度受賞

丹波なた豆茶

● 有限会社 こやま園 ●

▼ なた豆を栽培している農家の皆さん



DATA

本社所在地 兵庫県丹波市春日町黒井 1972

事業内容 農産物栽培・加工・販売



◀ 国内外で高く評価されている「丹波なた豆茶」

さが30センチ以上にもなる豆で、腎機能の改善やアレルギー症状の緩和などの効果があるとされる「なた豆」を使った丹波なた豆茶。大学との共同研究により健康効果が確認されたオリジナルの種子のみを使い、地元の47のグループ農家と共に無農薬・有機栽培し、お茶に加工しています。国内はもとより、こやま園が現地法人を設立したベトナムをはじめ、海外でも風味

や効果が評価され愛飲家が増えていきます。平成30年には、農林水産省の「第5回ディスカバー農山漁村(むら)の宝」の優良事例として選定されました。近年では、なた豆茶を生かした「のど飴」や、ペットの犬・猫用の歯磨き無添加ガムを開発、販売しています。ベトナムでは丹波なた豆茶の普及を図るだけでなく、ベトナム進出を考えている日本企業のサポートもしています。



兵庫県丹波県民局
県民交流室 地域振興課

〒669-3309 兵庫県丹波市柏原町柏原688
TEL: 0795-73-3788